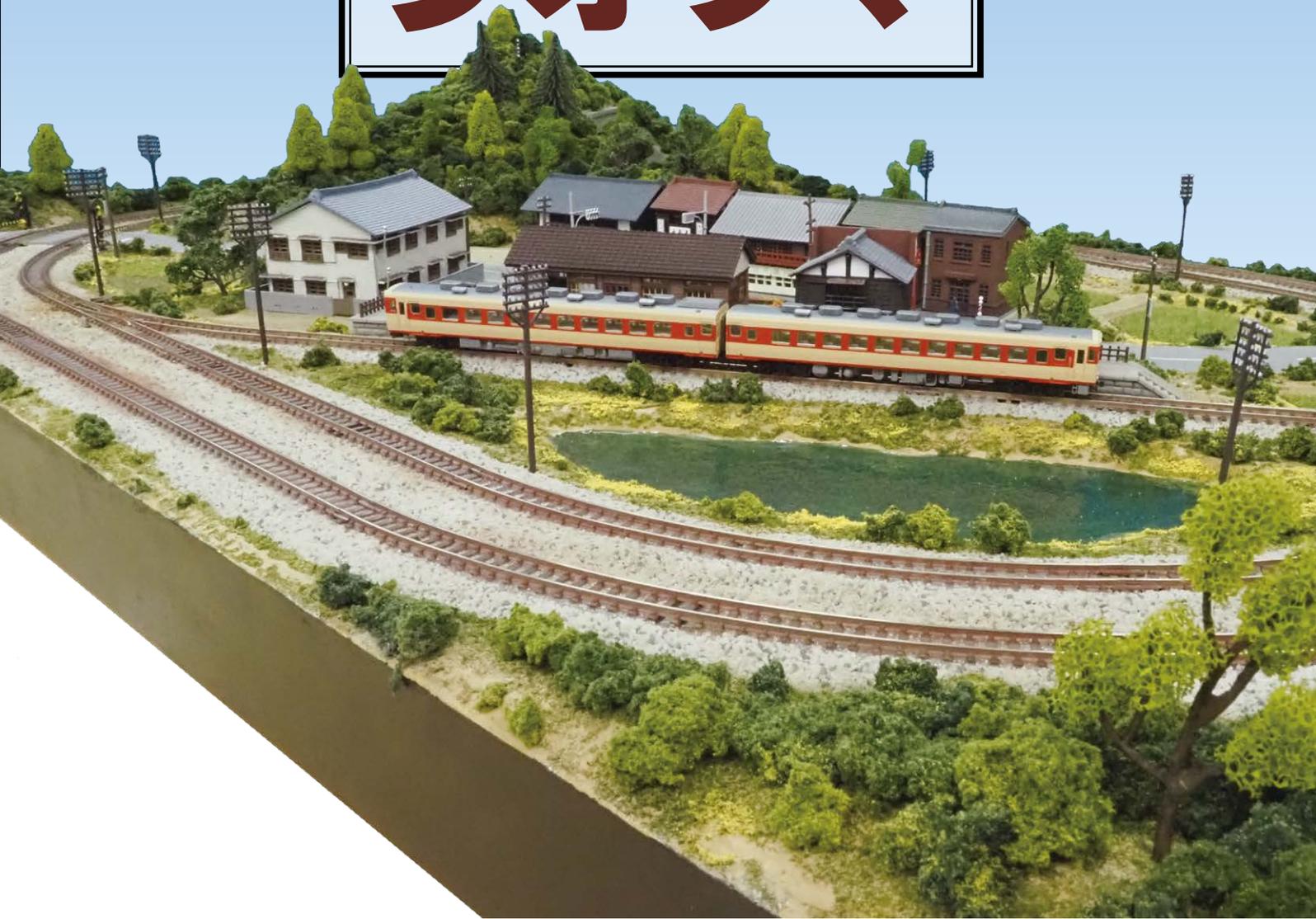


ステージ

11

# はじめてつくる 本格鉄道 ジオラマ



# はじめてつくる 本格鉄道ジオラマ

## ステージ 11： 田んぼと池に色をつける／ レールに錆色をつける／ 踏切渡り板を設置する

### パーツリスト

11-A



11-B



11-C



11-D



※作り方ガイドの写真は、実際に提供するパーツと仕様などが一部異なる場合があります。

11-A 水性ニス

11-B 塗料⑤(水面色)

11-C 踏切渡り板(小／外周用) ※280と書かれたシールが貼ってある小袋に入っている

11-D 踏切渡り板(小／内周用) ※243と書かれたシールが貼ってある小袋に入っている

# STEP1：田んぼと池に色をつける

## STEP 1：田んぼと池に色をつける

このSTEPでは田んぼと池に色をつけていく。本ステージ提供の11-A 水性ニス、11-B 塗料⑤(水面色)の他に、ステージ8提供の筆3本と塗料①(地形基本色)、ステージ9提供の塗料②(錆色)と塗料④(黒色)を用意する。



田んぼの部分に筆で水を薄く塗り、布巾等で拭き取って盤面をきれいにする。



先ず田んぼの盤面に塗る色を作る。塗料②(錆色)を紙コップの1分目くらい入れ、次に筆先に少量の塗料④(黒色)を取り、よく混ぜ合わせる。



塗料⑤(水面色)も錆色の半量ほど混ぜる。色自体は大きくは変わらないが、少し味が出る。粘度が強い場合は、少量の水を入れ、塗りやすい粘度に調整する。



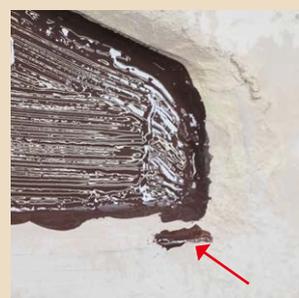
STEP1-3で調合した塗料を田んぼの盤面に塗っていく。



塗料が乾いてくると、筆の跡はだんだん目立たなくなはなるが、最初からできるだけ塗装面が平面になるように塗っていこう。

### ONE ワンポイント POINT

畔の部分に塗料がついてしまっても、後のSTEPで明るめの塗料を塗って隠すので問題は無いが、できるだけ畔には塗料がつかないように注意しよう。



# STEP1：田んぼと池に色をつける

※ここから先の作業は盤面に塗った塗料が完全に乾いてから行うが、効率的な作業をするのであれば、先に池の盤面に色を塗る作業 (STEP1-9 ～1-16) を行った後に、STEP1-6の作業に移ると良い。



盤面に塗った塗料が完全に乾いたら、塗料① (地形基本色) に少量の塗料② (錆色) を混ぜるなどして、田んぼ盤面に塗った色より明るい色を調合し、喫水線を描いていく。



うまく喫水線の直線が出せない場合は、ハガキなどの厚紙を田んぼの縁に当てて、色を塗ると良い。

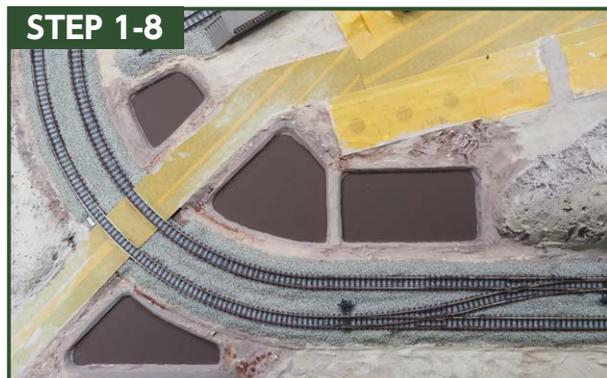
※ここで調合した塗料は、STEP1-17の池の喫水線を描く際にも使用する。

## ONE ワンポイント POINT

喫水線とは、田んぼや池の水面が畔や土手と接している部分だ。水面は水平なので、田んぼや池の盤面に色を塗った後で、喫水線をきっちり描いておくと仕上がりがきれいになる。



喫水線を描いたら、畔や周辺部にも同じ色を塗り広げ、自然な感じに色を馴染ませていく。



田んぼの盤面と喫水線、周辺部に色を塗って仕上げると写真のようになる。



次に池を塗っていくが、先ず塗料⑤ (水面色) を紙コップに1分目くらい入れる。これは水深の浅い部分用として使う。



別の紙コップに塗料⑤ (水面色) を1分目くらい入れ、塗料④ (黒色) を少量筆に取り、良く混ぜ合わせる。これは水深の深い部分用として使う。



明るさの違う2種の水面色ができた。粘度が強い場合は、少量の水を入れ、塗りやすい粘度に調整しよう。

# STEP1：田んぼと池に色をつける



STEP1-1と同様に池の部分に水を薄く塗り、布巾等で拭き取って盤面をきれいにする。



最初に明るい水面色を全体に塗っていく。



次に濃い水面色を池の中心部に塗る。



明るい塗料と暗い塗料との境目を馴染ませるために、少量の水を筆に取り、境目をなぞる。



水際をさらに明るい色にしたい場合は、塗料①(地形基本色)を水際に塗り、その上から少量の水を取った筆でなぞり、色を馴染ませる。



塗料が乾くと、写真のようにグラデーションのかかった水面の色に仕上がる。

## ONE ワンポイント POINT

水面に少しニュアンスをつけるために、一旦塗料が乾いた後に、STEP1-10で作った塗料を筆先に少量取り、盤面を叩くように塗るのも面白い。



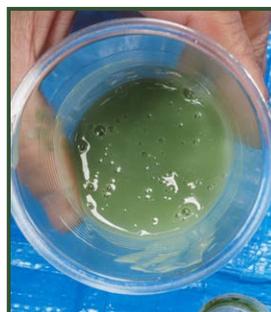
# STEP1：田んぼと池に色をつける



STEP1-6で調合した塗料を使い、田んぼの噴水線を描いたのと同様に、池にも噴水線を描いていく。



周辺部にも同じ色を塗り広げ、自然な感じに色を馴染ませていく。



ここからは、色を塗った田んぼと池にニス塗っていく。まず、11-A 水性ニスをコップに2分目くらい入れ、筆に少量の塗料⑤(水面色)を取り、良くかき混ぜる。



田んぼの盤面に塗った塗料が完全に乾いたことを確認したら、STEP1-19で調合した水性ニスを盤面に塗っていく。



池の盤面にも水性ニスを塗っていく。



全ての田んぼと池の盤面にニスを塗ったら、ほこりやゴミが入らないように注意しながら、ニスが乾くのを待つ。

## ONE ワンポイント POINT

コップに余った調色済の塗料は、山や地面など、気になる部分に色の変化をつけるのに使用するのも良い。



## STEP2：レールに錆色をつける

### STEP 2：レールに錆色をつける

このSTEPではレールに錆色をつけていく。ステージ8提供の丸筆2本と、ステージ9提供の塗料②(錆色)を用意する。



塗料②(錆色)を紙コップに1分目くらい入れる。



丸筆を使って、レールの側面に塗料を塗っていく。

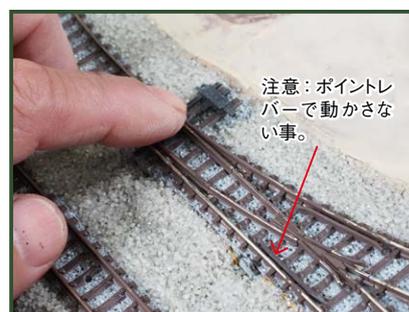
※レール天面部に塗料がついてしまった場合は、後からサンドペーパーで磨けば良い。



山頂部のブロックも取り外し、トンネル内部のレールも忘れずに塗っておく。



ポイントのレール同士が接する部分は、塗料が付着すると通電不良になるため、塗料を塗らないように気をつける。



塗料が乾いたら、トングレールがちゃんと動くことを確認する。この時、トングレールの先に指を当てて動かしてみる事。

※トングレールが塗料で固まっている時に、ポイントレバーでトングレールを無理に動かすと、内部構造が破損する恐れがあるので注意する。

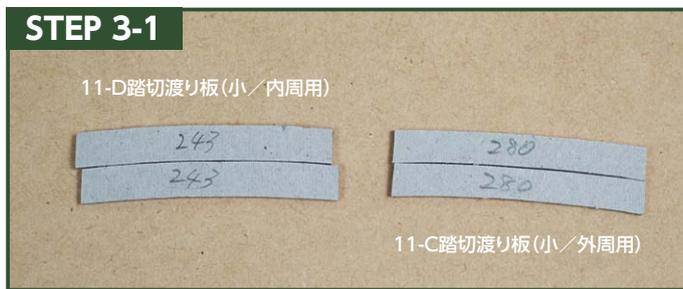


レール止めの部分にも所々錆色を塗っておくと味が出る。

# STEP3：踏切渡り板を設置する

## STEP 3：踏切渡り板を設置する

このSTEPでは踏切渡り板を設置する。11-C踏切渡り板(小／外周用)と11-D踏切渡り板(小／内周用)、丸筆2本、ステージ9提供の塗料②(錆色)、塗料③(茶色／踏切板色)を用意する。  
 ※外周用の踏切渡り板が入った袋には280と書かれたシールが、内周用の踏切渡り板が入った袋には243と書かれたシールが貼ってある。



2種の踏切渡り板の判別を後から容易にするために、内周用の踏切渡り板の裏側に243、外周用踏切渡り板の裏面に280と鉛筆で書いておく。この数字はそれぞれの内径を表している。

### ONE ワンポイント POINT

踏切渡り板の内周用と外周用は判別が難しいが、それぞれの一端をぴったり合わせると、もう一方の端部が僅かにずれるので、それで判別することができる。



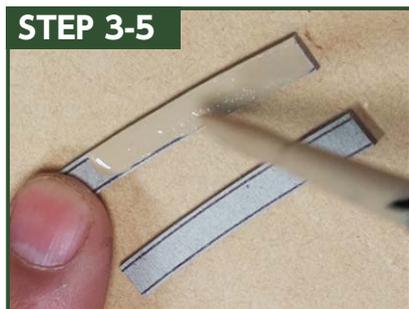
紙コップに少量の木工用ボンドを入れる。



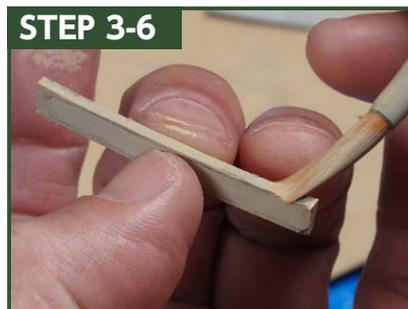
木工用ボンドと同量の水を入れて、よくかき混ぜる。



STEP3-3で作った希釈ボンドと同量程の塗料③(茶色／踏切板色)を入れ、よくかき混ぜる。



STEP3-4で作った塗料を踏切渡り板の表面に塗る。

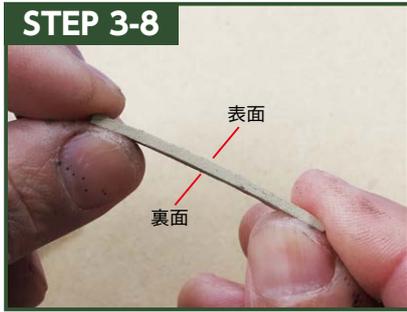


踏切渡り板の表面に塗った塗料が乾いたら、側面にも塗料を塗る。  
 ※裏面には塗料を塗らない。



全ての踏切渡り板に塗料を塗ったら、段ボール紙の上などに、完全に乾くまで置いておく。  
 ※乾いた後に、2度塗りすると更に踏切渡り板を強化できるので、お勧めです。

# STEP3：踏切渡り板を設置する



塗料が乾いて、踏切渡り板が反ってしまっている場合は、ゆっくり湾曲させながら、反りをなくしておく。



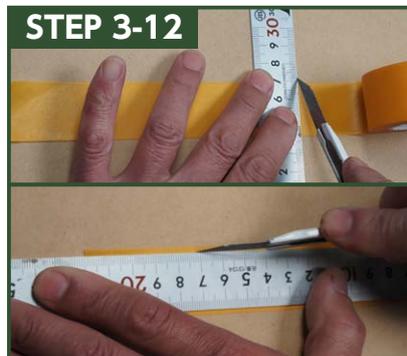
まず、外周用踏切渡り板の裏面に強力接着剤を塗布する。



外周レールの踏切部に、レール間のちょうど中央に踏切渡り板がくるように設置する。



内周用踏切渡り板も同様に設置する。反対側の踏切部分にも、内・外周用踏切渡り板を設置する。



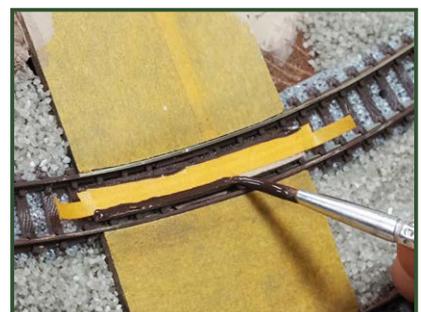
マスキングテープを20cm程カッターマット等に貼り、2～3 mm幅くらいの細さで切り出す。



STEP3-12で切り出したマスキングテープを、踏切渡り板の表面に印刷された曲線の内側に沿わせて丁寧に貼っていく。



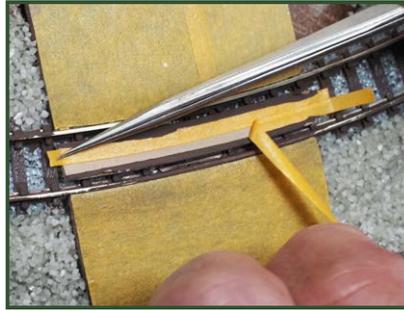
紙コップに塗料②(錆色)を少量入れる。



全ての踏切渡り板の両端部に、塗料②(錆色)を塗る。

## STEP3：踏切渡り板を設置する

STEP 3-16



塗料が乾いたら、上に貼ってある方のマスキングテープを丁寧に剥がしていく。下に貼ってあるマスキングテープと一緒に剥がれないように、ピンセットで押さえながら剥がしていくと良い。

STEP 3-17



上のマスキングテープを剥がし終わったら、同様に下のマスキングテープも丁寧に剥がしていく。

## 本ステージの完成

ここまでで本ステージでの作業は終了だ。

製作物と、塗料各種および3本の筆は後のステージでも使用するので、保管しておく。筆先は水できれいに洗っておこう。

